

社会的クリティカルシンキングと 宗教意識の関連

—不思議現象に対する態度との比較¹—

中山 真（皇學館大学文学部コミュニケーション学科）

〈要旨〉 本研究の目的は社会的クリティカルシンキング（以下社会的 CT）と宗教意識の関連を検討することである。社会的 CT は論理主義的な従来の批判的思考に比べ、他者や社会的な文脈を意識することを優先した概念である。批判的思考と一見対照的であるように見えるのが宗教意識である。しかし、社会的 CT を持つ者は、生活や文化に根付いた神仏の存在や宗教一般に対しては、好意的な態度は持つのではないかと推測される。大学生 131 名を対象に調査を実施した。調査内容は、基本属性、宗教意識尺度、短縮版社会的 CT 志向性尺度、不思議現象信奉尺度である。宗教意識と社会的 CT 志向性については、神仏の関与的存在と探究心、宗教肯定と論理の重視、自然・神秘と論理の重視、自然・神秘と探究心との間に弱い正の相関が見られた。次に、不思議現象信奉と社会的 CT 志向性については、スピリチュアル信奉と対人的柔軟性との間に弱い正の相関が、ジンクス信奉と脱軽信との間に弱い負の相関が見られた。社会的 CT による宗教意識と不思議現象信奉の関係の調整効果は、ジンクス信奉を目的変数、自然・神秘と脱軽信を説明変数にした場合に有意傾向が見られるに留まった。これらの結果から、社会的 CT と宗教意識は対立するものではない。

1 本研究は、日本心理学会第 84 回大会（東洋大学白山キャンパス主催・オンライン開催）で発表した内容に加筆修正したものである。

いと考えられる。

〈キーワード〉 社会的クリティカルシンキング, 宗教意識, 不思議現象

問 題

クリティカルシンキング（批判的思考）は、年齢や職業を問わず、これからの社会を生き抜くために必要なジェネリックスキル（汎用的能力）として、世界各国で取り上げられている。楠見（2011）は、批判的思考について、①証拠に基づく論理的で偏りのない思考、②自分の思考過程を意識的に吟味する省察的で熟慮的思考、③より良い思考を行うために目標や文脈に応じて実行される目標指向的な思考、と説明している。日本でも特に高等教育段階に獲得すべき能力として、十数年ほど前から注目されている。しかし、日本の大学生はクリティカルシンキングの論理的側面に対し拒否的な反応を示し、そのような能力を持つ人物（クリティカルシンカー）に対し、親しみやすさを感じず、友だちにはなりたくないとは評価している（廣岡・小川・元吉, 2000）。また、日本では思考を行う主体とその社会的文脈の関連性が重視されるため、欧米で評価される論理的・抽象的思考が好まれるとは限らない（元吉, 2013）。したがって、日本の学生はクリティカルシンキングを身につけることに消極的であり、身につけたとしても日常生活で使おうとする態度や動機を持つことは困難であると考えられる。

この問題を克服し得る概念が、社会的クリティカルシンキング（以下、社会的CT）である。これは、「自分とは異なる他者の存在を意識し、人間の多様性を認めながら、偏ることなく他者を理解しようとし、文脈や状況によっては譲歩することができる。そして、異なる他者や多様な価値観に対する寛容さを持つことを重視した概念」である（廣岡・元吉・小川・斎藤, 2001）。論理主義的な従来のクリティカルシンキング（批判的思考）に比べ、他者や社会的な文脈を意識することを優先した概念である。この能力・技術の向上を目指す前提として、志向性を持つことが重要である（廣岡ら, 2001）。志向性とはすなわち、クリティカルシンキングをしようとすることである。

一方、そうした概念と一見対照的であるように見えるのが宗教に対する態度や信仰である。本研究では、個人の宗教的行動の内的・心理的側面である宗教意識（religious consciousness）に着目する。宗教意識は、個々の人間の宗教的行動の内的側面を指す（岸本，1961）。類似した言葉として、“宗教心”や“宗教的心情”といったものがある（西脇，2004）。日本人の宗教意識は全般的には諸外国に比べて低いものの、先祖への尊敬の念、易・占い、呪い・祟りといった呪術的な観念は高く、「宗教的な心」も大切にする傾向がある（西脇，2004）。また、日本人は宗教と無縁の生活をしているのではなく、宗教と意識しないほど、生活に密着している（金兎，1997）。科学と宗教の関係はさまざまな議論があるが、必ずしも対立するものではないという見方もある（e.g., Brooke, 1991）。

上述の易・占い、呪い・祟りといった呪術的観念と関連すると思われるのが、不思議現象信奉である。不思議現象とは、現在の科学ではその存在や効果が立証されないが人々に信じられていることのある現象を指す（菊池，1997；小城・坂田・川上，2008）。不思議現象に含まれるものとしては、占い、UFO（Unidentified Flying Object）・宇宙人、霊、超能力、血液型性格判断、前世・輪廻転生、祟り、神仏の存在・願掛け、死後の世界、予言、迷信・縁起、UMA（Unidentified Mysterious Animal）、コックリさんなどである（小城・川上・坂田，2006）。不思議現象信奉と批判的思考の関連については、坂田・小城・川上（2007）において、相関係数の値が全般的に.10台以下と低く、否定的な態度は確認されていない。科学的思考の関連については、科学的思考が強いほど不思議現象を否定するという結果もあれば（岩永・坂田，1998；神館，2003；松井，1997）、それとは逆の結果を示しているものもある（水野・辻，1996）。

一方で、社会的CTと不思議現象信奉の関連は検討されていない。従来の批判的思考と同様に、それほど否定的な態度は取らないと考えられる。また、生活や文化に根付いた神仏の存在や宗教一般に対しては、より好意的な態度を持つ可能性もあるのではないかと推測される。

方 法

調査手続き・対象者

2020年5月、三重県内の宗教系（神道系）大学に在学する大学生131名（内女性60名、年齢 $M = 18.72 \pm 0.96$ 歳）を対象にオンラインで調査を実施した。調査は2回に分けて行い、そのうちの一部の尺度をここでの分析対象とした。

調査内容

基本属性 年齢・性別について回答を求めた。

宗教意識 西脇（2004）の宗教意識尺度を使用した。「神仏の関与的存在（尺度項目例：神や仏はいると思う）」「宗教肯定（例：宗教はものごとの有り難さや感謝する心を教えていると思う）」「自然・神秘（例：大自然（大空、海、山々など）には何か神秘的な力があると思う）」の3因子25項目で構成される。「1. 全く当てはまらない」「2. やや当てはまらない」「3. どちらともいえない」「4. やや当てはまる」「5. 全く当てはまる」の5件法で回答を求めた。

社会的CT 社会的CT能力自己認知尺度や短縮版社会的CT志向性尺度を作成した磯和・南（2015）²を参考に、「対人的柔軟性（例：たとえ意見が合わない人の話にも耳をかたむける）」「論理の重視（例：人の良い面と悪い面の両方を見る）」「脱軽信（例：何事も、少しも疑わずに信じ込まないようにする）」「真正性（例：友だちに対してでも、悪いことは悪いと指摘する）」「探究心（例：できるだけ多くの事実や証拠を調べる）」の5因子15項目について回答を求めた。能力の自己認知を尋ねる「あなたは、次の項目をどれくらいできると思いますか」という教示に対して「1. 全くできない」「2. できない」「3. あまりできない」「4. どちらともいえない」「5. 少しできる」「6. できる」「7. 非常にできる」の7件法で回答を求めた。

不思議現象信奉 岩永・坂田（1998）および諸井・早川・板垣（2014）の尺度を基に、現代の若者には馴染みの薄い項目等を削除した26項目について、「1. そう思わない」「2. あまりそう思わない」「3. わからない」「4. ややそう思う」「5. そう思う」の5件法で回答を求めた。

2 いずれの尺度も中西・廣岡・横矢（2006）の社会的CT志向性尺度をもとにしている。

倫理的配慮

調査実施時には、(1) 研究参加は任意であり、不参加や中断により不利益を被ることはないこと、(2) 回答は無記名で行われ、得られたデータは全体を統計的に処理するため、個人が特定されることがや個人の回答が問題になることはないこと、(3) 得られたデータは研究者のみが研究目的のみで使用することを、回答サイト上に記載し、理解および同意した参加者のみが調査項目への回答を行った。

結 果

因子分析・尺度構成

不思議現象信奉尺度 項目に修正を加えた不思議現象信奉尺度について、因子分析を行った。固有値の減衰状況 (8.629, 2.375, 2.139, 1.676, 1.502, 1.006) およびスクリープロットの形状から 5 因子が示唆されたが、原典および解釈可能性を考慮して 4 因子に設定し、再度、最尤法・プロマックス回転による因子分析を行った。その結果、「迷信信奉」因子 (12 項目, $\alpha = .88$), 「スピリチュアル信奉」因子 (5 項目, $\alpha = .86$), 「未知存在信奉」因子 (2 項目, $\alpha = .88$), 「ジンクス信奉」因子 (3 項目, $\alpha = .66$) を抽出した (Table 1)。それぞれ合計点を項目数で割った平均値を尺度得点とした。

その他の尺度 その他の尺度は原典通りの因子構造を採用し、 α 係数を算出した。その結果、一部値が低い尺度もあったが、原典でも同様の値であったため、それぞれ合計点を項目数で割った平均値を尺度得点として分析を行うことにした。各尺度の α 係数と基本統計量は次のとおりである。宗教意識尺度は、「神仏の関与的存在」が $\alpha = .90, M = 2.99 \pm 0.84$, 「宗教肯定」が $\alpha = .87, M = 3.15 \pm 0.84$, 「自然・神秘」が $\alpha = .70, M = 3.15 \pm 0.84$ であった。社会的 CT 尺度は、「対人的柔軟性」が $\alpha = .55, M = 5.79 \pm 0.76$, 「論理の重視」が $\alpha = .64, M = 5.36 \pm 0.91$, 「脱軽信」が $\alpha = .82, M = 4.88 \pm 1.21$, 「真正性」が $\alpha = .82, M = 5.09 \pm 1.14$, 「探究心」が $\alpha = .59, M = 5.06 \pm 0.95$ であった。

社会的クリティカルシンキングと宗教意識の関連（中山）

Table 1 不思議現象信奉尺度 因子分析結果（最尤法・プロマックス回転）

	F1	F2	F3	F4	h^2
第1因子 迷信信奉（ $\alpha = .88$, $M = 2.31 \pm 0.80$ ）					
22. 占いを信じている	.744	.129	-.166	.183	.720
23. 占いは当たる	.714	.103	-.046	.233	.732
07. 念力でスプーンを曲げることの出来る人がいる	.590	.093	.151	-.317	.517
16. 霊柩車を見たときは親指を隠さなければいけない	.577	-.230	-.147	-.017	.204
21. おまじないをすると, 自分の願いが叶う確率は高くなる	.564	-.120	.027	.240	.369
24. 占いを信じて行動すれば, 本当に良いことが起きる	.562	.099	.071	.280	.604
06. 物体を精神の力で浮遊させることができる人がいる	.528	.197	.095	-.200	.489
11. 血液型によって性格を知ることは可能である	.523	-.096	.024	.182	.300
13. 掌の生命線が長いと長生きする	.506	.050	-.166	.292	.407
10. 神社にお参りすれば願い事がかなう	.477	-.002	-.104	.263	.329
15. 呪文を使うことによって人に呪いをかけることができる	.456	.344	-.025	-.208	.496
19. 神隠しは実際に存在する	.428	.198	.277	-.153	.518
第2因子 スピリチュアル信奉（ $\alpha = .86$, $M = 3.23 \pm 1.04$ ）					
01. 死者の霊は存在する	-.303	1.112	-.108	.080	.827
02. 霊界は存在する	-.128	.852	-.025	.090	.605
05. 憑依霊が人につくことがある	.101	.697	.120	-.136	.672
03. 体は死んでも魂は生き続ける	.010	.643	-.081	.048	.389
04. 前世や来世は存在する	.173	.476	.059	.111	.438
第3因子 未知存在信奉（ $\alpha = .88$, $M = 3.41 \pm 1.32$ ）					
18. UFO は存在する	-.174	.031	.945	.195	.890
17. 未確認生物（雪男や宇宙人, 地底人など）は存在する	-.067	-.085	.881	.094	.706
第4因子 ジンクス信奉（ $\alpha = .66$, $M = 3.20 \pm 0.94$ ）					
26. 毎回同じルーティンをすれば, 物事が上手くいく確率が高くなる	-.047	-.013	.156	.643	.435
25. ゲン担ぎをすれば, 勝負事で良い結果を残すことができる可能性が高くなる	.125	.046	.236	.620	.569
12. 茶柱が立つといいことがある	.142	.024	-.008	.412	.225
因子寄与	6.168	5.757	3.162	2.333	
因子間相関	F1	.656	.342	.245	
	F2	-	.460	.135	
	F3		-	.094	

性差

不思議現象信奉には性差が大きい（松井，1997，2001 など）という指摘もあることから，各尺度得点について性差を確認した。その結果，対人的柔軟性（男性 $M = 5.62 \pm 0.77$ ，女性 $M = 6.02 \pm 0.67$; $t(89) = 2.64, p = .009, d = .55$ ），未知存在信奉（男性 $M = 3.84 \pm 1.18$ ，女性 $M = 3.11 \pm 1.28$; $t(89) = 2.81, p = .006, d = .58$ ），ジンクス信奉（男性 $M = 3.46 \pm 0.88$ ，女性 $M = 2.99 \pm 0.97$; $t(89) = 2.38, p = .019, d = .50$ ）において，性差が見られた。それ以外の尺度得点においては有意な差は見られなかった。

相関分析

各尺度得点間の相関係数を算出した（Table 2）。

宗教意識と社会的 CT 神仏の関与的存在と探究心（ $r = .18, p = .036$ ），宗教肯定と論理の重視（ $r = .26, p = .003$ ），自然・神秘と論理の重視（ $r = .19, p = .028$ ），自然・神秘と探究心（ $r = .17, p = .046$ ）との間に弱い正の相関が見られた。

不思議現象信奉と社会的 CT スピリチュアル信奉と対人的柔軟性との間に弱い正の相関（ $r = .22, p = .037$ ）が，ジンクス信奉と脱軽信との間に弱い負の相関（ $r = -.23, p = .027$ ）が見られた。

宗教意識と不思議現象 神仏の関与的存在と迷信信奉，スピリチュアル信奉，ジンクス信奉で弱から中程度の正の相関（ $r = .30 - .60$ ）が，宗教肯定と迷信信奉，未知存在信奉で弱い正の相関（ $r = .23 - .36$ ）が，自然・神秘と迷信信奉，スピリチュアル信奉，未知存在信奉，ジンクス信奉の間で弱から中程度の正の相関（ $r = .32 - .55$ ）がそれぞれ見られた。

階層的重回帰分析

宗教意識と不思議現象信奉の関係を社会的 CT が調整するかを検討するため，交互作用項を含む階層的重回帰分析を行った。しかし，顕著な調整効果が見られた説明変数と目的変数の組み合わせはなかった。

その中で，ジンクス信奉を目的変数とし，Step 1 の説明変数に自然・神秘

社会的クリティカルシンキングと宗教意識の関連（中山）

と脱軽信, Step 2で交互作用項を投入したところ, 交互作用項が有意傾向であった ($R^2 = .19$; $b = 0.19$, $SE = 0.11$, $\beta = .18$, $t(87) = 1.84$, $p = .07$)。ただし, Step 2での ΔR^2 も有意傾向に留まった (Table 3)。単純傾斜の検定を確認したところ, 脱軽信が低い群では自然・神秘の効果が見られなかったが ($b = 0.20$, $SE = 0.17$, $t(87) = 1.19$, $p = .24$), 脱軽信の高い群では自然・神秘の低さがジnkス信奉を低くしていた ($b = 0.67$, $SE = 0.19$, $t(87) = 3.59$, $p < .001$; Figure 1)。

Table 2 各尺度得点間の相関係数

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
宗教意識											
1 神仏の関与的存在	—										
2 宗教肯定	.59***	—									
3 自然・神秘	.76***	.58***	—								
社会的 CT											
4 对人的柔軟性	.11	.11	.15+	—							
5 論理の重視	.16+	.26**	.19*	.33***	—						
6 脱軽信	.06	.13	.05	.20*	.37***	—					
7 真正性	.05	.03	.04	.27**	.37***	.32***	—				
8 探求心	.18*	.11	.17*	.33***	.51***	.36***	.37***	—			
不思議現象信奉											
9 迷信信奉	.60***	.35**	.50***	.14	.09	-.02	.01	.11	—		
10 スピリチュアル信奉	.48***	.18+	.55***	.22*	-.04	.06	-.03	.10	.61***	—	
11 未知存在信奉	.09	.23*	.33**	.17	.03	-.03	-.01	.13	.25*	.33**	—
12 ジnkス信奉	.30**	.19+	.32**	-.04	-.01	-.23*	.10	.12	.41***	.26**	.31**

Note. *** $p < .001$, ** $p < .01$, * $p < .05$, + $p < .10$.

社会的クリティカルシンキングと宗教意識の関連（中山）

Table 3 階層的重回帰分析の結果

	Step 1			Step2		
	β	t		β	t	
自然・神秘	.33	3.32	**	.34	3.54	**
脱軽信	-.24	-2.49	*	-.23	-2.38	*
自然・神秘×脱軽信				.18	1.84	†
R^2		.16	**		.19	***
ΔR^2		.16	**		.03	†

Note. *** $p < .001$, ** $p < .01$, * $p < .05$, + $p < .10$.

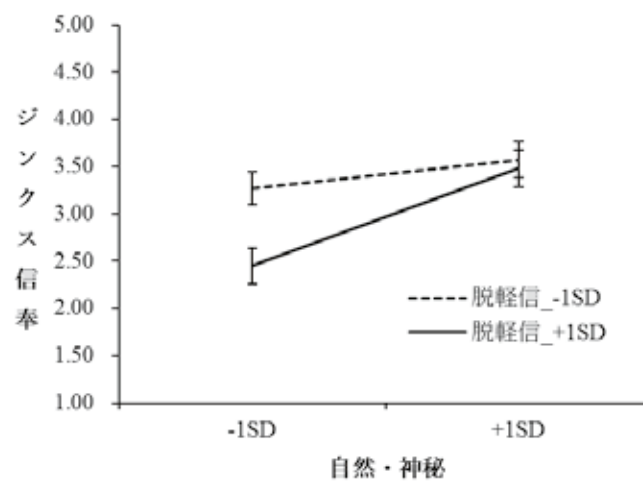


Figure 1 自然・神秘×脱軽信によるジンクス信奉

考 察

性差

各尺度得点について性差を確認した結果、対人的柔軟性は男性よりも女性で、未知存在信奉は女性よりも男性で、ジンクス信奉は女性よりも男性で、それぞれ有意に得点が高かった。このうち、未知存在信奉の性差に関して、松井（2011）ではUFOや超能力については男性の方が信じる比率が高く、本研究の結果はこれと同様のものである。

下位尺度間の相関分析

社会的 CT 志向性は、宗教意識との正の関連が見られた。このことから、社会的 CT と宗教意識は対立するものではないと考えられる。また、社会的 CT と不思議現象の間に有意な負の相関がほとんど見られなかった。不思議現象への懐疑的な態度が批判的思考と関連しないという結果は、坂田・小城・川上（2007）などと一致する結果である。若者が不思議現象に高い関心を持つことについて、現在の科学的常識を超える何かがあるのではという期待による科学的関心が形を変えたもの（井上, 1985）、と解釈することもできるだろう。一方で、宗教意識と不思議現象信奉との間には、多くの下位尺度間で正の関連が見られた。宗教意識と不思議現象信奉には親和性があるといえよう。井上（2013）は、大学生に対する宗教や社会についての意識調査のデータをもとに、パワースポットを信じるかどうかと、神・仏・霊魂の存在を信じるかどうかの関連を見たところ、強い相関性を見出している。本研究の結果はこのような関連と一致するものである。

階層的重回帰分析

社会的 CT による宗教意識と不思議現象信奉の関係の調整効果は、ジンクス信奉を目的変数、自然・神秘と脱軽信を説明変数にした場合に有意傾向が見られるに留まった。有意傾向であるものの、脱軽信が高い人で自然・神秘の宗教意識が低い人は、ジンクス信奉が他に比べて低い（理論的中間点未満）という結果であった。それ以外では、ジンクス信奉は理論的中間点以上であったため、ジンクスに否定的であるのは全体の中でも一部ということになった。ジンクスには錯誤相関、幻相関、迷信的思考などによるものも多い。これは、実際には無関係な出来事の間に関連性を感じ取ってしまったり、もしくは弱い関連性しかないのに、強い関連があるかのように思い込んだりしてしまう、関連性の錯覚のことである（菊池, 2020）。このような錯覚に気づくのも批判的思考によるものであり、脱軽信が高く、神秘的なものに否定的な場合に、ジンクスに対して否定的な態度が見られたのであろう。

本研究の限界と今後の課題

本研究で使用した社会的 CT 志向性尺度は、 α 係数が一部低かった。これは原典でも同様であるが、その概念を整理し直す必要もあるだろう。また、今後は社会的 CT がより意味を持ちそうな事柄について検討する必要がある。従来の CT と大きく異なるのが「対人的柔軟性」（人の考え方にはバリエーションがあることを意識した上で、意見が合わない人の考えにも耳を傾けること）の部分である。今後は、意見の異なる他者が存在する状況下での社会的 CT の影響について、検討する必要がある。

引用文献

- Brooke, J. H. (1991). *Science and Religion: Some Historical Perspectives*. Cambridge: Cambridge University Press.
- 廣岡 秀一・元吉 忠寛・小川 一美・斎藤 和志 (2001). クリティカルシンキングに対する志向性の測定に関する探索的研究 (2) 三重大学教育実践総合センター紀要, 20, 93-102.
- 廣岡 秀一・小川 一美・元吉 忠寛 (2000). クリティカルシンキングに対する志向性の測定に関する探索的研究 三重大学教育学部研究紀要 (教育科学), 51, 161-173.
- 磯和 壮太郎・南 学 (2015). 短縮版社会的クリティカルシンキング志向性尺度の検討 三重大学教育学部研究紀要, 自然科学・人文科学・社会科学・教育科学, 66, 179-189.
- 井上 順孝 (1985). 座談会・宗教回帰? 真理と創造, 24, 10.
- 井上 順孝 (2013). 宗教の境界線: 学生に対する意識調査から 國學院大學研究開発推進機構日本文化研究所年報, 6, 40-66.
- 岩永 誠・坂田 桐子 (1998). 超常現象に対する肯定的信念の形成に関する研究 (1) 一個人要因の影響 広島大学総合科学部紀要 IV 理系編, 24, 75 - 85.
- 神舘 広昭 (2003). 俗信や超自然現象を信奉する要因に関する研究—高校生と高齢者を比較して— 聖マリアンナ医学研究誌, 78, 5-62.
- 金児 暁嗣 (1997). 日本人の宗教性: オカゲとタタリの社会心理学 新曜社
- 菊池 聡 (1997). なぜ不思議現象なのか 菊池 聡・木下孝司 (編) 不思議現象 子

社会的クリティカルシンキングと宗教意識の関連 (中山)

子どもの心と教育 北大路書房 pp. 1-14.

菊池 聡 (2020). 改訂版 錯覚の科学 放送大学教育振興会

岸本 英夫 (1961). 宗教学 大明堂

小城 英子・川上 正浩・坂田 浩之 (2006). 不思議現象に対する態度の探索的研究 聖心女子大学論叢, 107, 39-78.

小城 英子・坂田 浩之・川上 正浩 (2008). 不思議現象に対する態度：態度構造の分析及び類型化 社会心理学研究, 23, 246-258.

楠見 孝 (2011) 批判的思考とは：市民リテラシーとジェネリックスキルの獲得 楠見 孝・子安 増生・道田 泰司 (編) 批判的思考力を育む：学士力と社会人基礎力の基盤形成 有斐閣 pp.2-24.

松井 豊 (1997). 高校生が不思議現象を信じる理由 菊池 聡・木下 孝司 不思議現象 子どもの心と教育 北大路書房 pp. 15-36.

松井 豊 (2001). 不思議現象を信じる心理的背景 筑波大学心理学研究, 23, 67-74.

水野 博介・辻 大介 (1996). 大学生における宗教意識・オカルト関心と情報行動—理系・文系学生における調査結果の比較— 埼玉大学紀要 (埼玉大学教養学部編), 32, 1-22.

諸井 克英・早川 沙耶・板垣 美穂 (2014). 女子大学生における超常現象観の基本的構造 同志社女子大学生生活科学, 48, 13-24.

元吉 忠寛 (2013). 社会的クリティカルシンキングのすすめ 心理学ワールド, 61, 17-20.

中西 良文・廣岡 秀一・横矢 祥代 (2006). 動機づけと社会的クリティカルシンキングとの関連—大学生の「感じる力」と「考える力」— 三重大学教育実践総合センター紀要, 26, 57-66.

西脇 良 (2004). 日本人の宗教的自然観：意識調査による実証的研究 ナカニシヤ出版

坂田 浩之・小城 英子・川上 正浩 (2007). 不思議現象に対する態度と批判的思考との関連—不思議現象に対する態度 (7) — 日本心理学会第 71 回大会

付 記

本研究は、皇學館大学特別研究費の助成を受けて実施された。

資 料

宗教意識尺度項目一覧

神仏の関与的存在

01. 神や仏はいると思う
03. 私は、自分に何か悪いことが起こったとき、神や仏の罰を受けたのではないかと感じる
05. 絶対的な唯一の神または仏がいると思う
07. 困ったときや悩んでいるとき、神や仏は私を助け、はげましてくれると思う
08. 神や仏は私の心の中にいると思う
10. 神や仏は、いつも私を見ていると思う
15. 私は、神や仏の助けを受けていると覚えることがある
18. 私は、親しくしていた故人（亡くなった人）や先祖の霊によって守られていると思う
19. 神や仏は、いろいろな場所にいると思う
21. あらゆる生命の根源（＝みなもと）は、神や仏にあると思う
23. 私は、何か変わったことがあったとき、神や仏の恐ろしさを感じる

宗教肯定

04. 宗教はものごとの有り難さや感謝する心を教えていると思う
06. 宗教は生きとし生けるもの全てに対する深い尊敬の念をもたらしてくれると思う
12. 宗教は苦しみをやわらげ、心をいやしてくれると思う
14. 宗教は、人に助け合いの心をもたせ、良い人間関係をむすぶことができるようにしてくれると思う
16. 宗教は人類愛をそだて、世界の平和に貢献すると思う
20. 宗教は、どのように自分が生活し、生きるべきかを示してくれると思う
22. 宗教は、心の平安や幸福をもたらしてくれると思う

自然・神秘

02. 大自然（大空、海、山々など）には何か神秘的な力があると思う
 09. 人間の考えをこえた力をもつような、何か神秘的な存在があると思う
 11. お寺や神社やチャペルなど、聖なる場所にいと、深く心をゆさぶられる
 13. この宇宙のあらゆるもの（星、人、動物、山々、森など）には何か霊的なものがやどっていると思う
 17. よく考えてみると、私は今ここで生きているということには、何か神秘的な力がはたらいていると思う
-

社会的クリティカルシンキングと宗教意識の関連（中山）

社会的クリティカルシンキング志向性尺度項目一覧

対人的柔軟性

- 01. たとえ意見が合わない人の話にも耳をかたむける
- 03. 他の人が出した優れた主張や解決案を受け入れる
- 07. 人の考え方にはバラエティがあるということを意識する

論理の重視

- 13. 人の良い面と悪い面の両方を見る
- 14. 人が話していることの矛盾に気づく
- 15. 判断をくだす際には、事実や証拠を重視する

脱軽信

- 05. 何事も、少しも疑わずに信じ込まないようにする
- 10. 情報を、少しも疑わずに信じ込まないようにする
- 12. 身近な人の言うことだからといって、その内容を疑わずに信じ込まないようにする

真正性

- 04. 友だちに対してでも、悪いことは悪いと指摘する
- 06. 言わなければいけないと思えば、友だちに対しても客観的なことを言う
- 11. 人が間違った考え方をしている時には、それを指摘する

探究心

- 02. できるだけ多くの事実や証拠を調べる
 - 08. ものごとの理屈を考える
 - 09. 他の人があきらめても、なお答えを探し求め続ける
-

社会的クリティカルシンキングと宗教意識の関連 (中山)

Relationship between social critical thinking and religious consciousness:
comparison with attitude to paranormal phenomena

Makoto Nakayama (Faculty of Letters, Kogakkan University)

Abstract

The purpose of this study was to investigate the relationship between social critical thinking (Social CT) and religious consciousness. Social CT is a concept which gives priority to the consciousness of others and social context in comparison with the conventional critical thinking of the logicism. It is religious consciousness that seems to be in sharp contrast to critical thinking. However, it is guessed that the person with social CT may have a favorable attitude toward the existence of Shinto and Buddhist deities rooted in life and culture and religion in general. The investigation was carried out for university students of 131 persons. Survey contents are basic attribute, religious consciousness scale, short edition social CT orientation scale, mysterious phenomenon belief scale. On religious consciousness and social CT orientation, there was weak and positive correlation between involvement existence of God and Buddha and inquiring mind, religious affirmation and importance of logic, importance of nature and mystery and logic, nature and mystery and inquiring mind. Next, regarding myth belief and social CT orientation, a weak positive correlation was found between spiritual belief and interpersonal flexibility, and a weak negative correlation was found between jinx belief and egalitarianism. The adjustment effect of the relationship between religious consciousness and belief in mysterious phenomena by social CT tended to be significant when belief in jinx was an objective variable and nature/mystery and depravity were explanatory variables. These results suggest

社会的クリティカルシンキングと宗教意識の関連（中山）

that social CT and religious consciousness do not conflict with each other.

Keywords : social critical thinking, religious consciousness, paranormal
phenomena